

ファンタスティック街道 セールスマニュアル

バーデン・ヴュルテンベルク州で見逃がせない9のハイライト

ティティゼー

ティティゼーは黒い森高原地方観光のハイライト。黒い森の魅力のすべてがここに詰まっている。カッコウ時計は、マリー・アントワネットやゲーテによって世界中に広まり、名産の燻製生ハムやサクランボケーキは、この地方ならではの味となっている。また、ハイキングや湖畔のプロムナードの散策などでゆっくり時間をかけて滞在したい観光地だ。

www.visitblackforest.info/



© Black Forest Production GmbH

ブライザッハ

ブライザッハは、西にフランス側のヴォージュ山脈、東にドイツ側の黒い森と2つの高地に挟まれた国境の街。太陽王と呼ばれたルイ16世の時代はフランス領だった。この時代の凱旋門が街の中に残り、街の象徴ミュンスター大聖堂が立つミュンスターベルクの丘からは、街の全体が見渡る。近くのカイザーシュトゥールは有数のワイン生産地だ。

www.breisach-urlaub.de



© Black Forest Production GmbH



© Black Forest Production GmbH

バーデン・バーデン

エレガントな国際都市バーデン・バーデンでは、世界的に有名な音楽会をはじめ展示会や国際会議が多く開かれる。また、黒い森のお膝元として街には自然があふれ、温泉保養地としても有名な場所だ。一流の芸術と高級ショッピングに加えて、フランス料理の影響を大きく受けたグルメやリースリングワインなど美食が楽しめる街として世界中のセレブにも愛されている。

www.baden-baden.com/en



© Baden-Baden Kur & Tourismus, N. Dautel



© Black Forest Production GmbH

花の島マイナウ

マイナウ島は、四季折々の花を楽しむことができるボーデン湖に浮かぶ島。スウェーデン王家の家系をルーツに持つレナート・ベルナドッテ伯爵が多様な植物が集められた。ドイツでは珍しいヤシやシトラス類も生育。チューリップ、蘭、ジャクナゲ、バラ、多年生草木やダリアなどが順次開花。島のレストランでは花をテーマにしたランチやティータイムも楽しめる。

www.mainau.de/en/



© Mainau GmbH_Achim Mende

ヴァインハイム

ヴァインハイムは、ファンタスティック街道への入口。ハイデルベルクの北15kmに位置する。初夏から秋にかけては、ヘルマンスホーフ植物園の藤棚の道が有名。川辺のゲルバーフィアテル地区には、趣のある木組みの家が多く残り、ロマンチックな雰囲気が味わえる。日本ではなかなか味わえない、バーデンワインを楽しめるワインレストランも多くある。

www.weinheim.eu/



© Black Forest Production GmbH



© Black Forest Production GmbH

ゲンゲンバッハ

小さな美しい街ゲンゲンバッハでは気軽に散策が楽しめる。街の中心マルクト広場に立つ市庁舎では、12月に入るとクリスマスまで毎日一つずつ市庁舎の窓が開く。テーマは年によって異なり、これまでシャガールやアンディ・ウォーホルなど有名な芸術家の作品が取り上げられた。バーデン地方の料理や特産のワインが楽しめるレストランも多い。

www.visitblackforest.info/



© Stadt Gengenbach_Hubert Grimmig



© Black Forest Production GmbH

コンスタンツ

ボーデン湖畔最大の街コンスタンツは、歴史的な出来事が実際に起こった場所で、歴史を体感することができる街。旧市街には博物館が多く立ち並び、一方で、ショッピングはもちろん、様々な水辺のアトラクション、ワインを含めた地産地消の食などを体験することができる。また、お祭りや各種のイベントが多く開催されている。

www.constance-lake-constance.com/



© Black Forest Production GmbH



© DZT_Maren Krings

チュービンゲン

チュービンゲンは、9人のノーベル賞受賞者を輩出したドイツ最古の大学の一つであるチュービンゲン大学がある大学町で、知識と知能の街とも言われている。旧市街は第二次世界大戦の破壊を免れ、現在では住みたい街の上位にランクされている。ネッカー川での小舟の遊覧、12月の世界最大級のチョコレートのお祭り「チョコレート(ChocolART)」が有名だ。

www.tuebingen-info.de



© DZT_Francesco Carovillano



© Black Forest Production GmbH

ホーエンツォレルン城

ホーエンツォレルン城はプロイセン王、ドイツ皇帝の城。18世紀には一時期廃墟となったが、19世紀にフリードリッヒ・ヴィルヘルム4世によって再建された。美しい外観だけでなく、豪華絢爛な伯爵の間、青のサロンやプロイセン王家所有の宝を集めた宝物庫など見ごたえ十分。冬はクリスマスマーケット、夏には城内のビアガーデンでプロイセンビールを楽しむ。

www.burg-hohenzollern.com



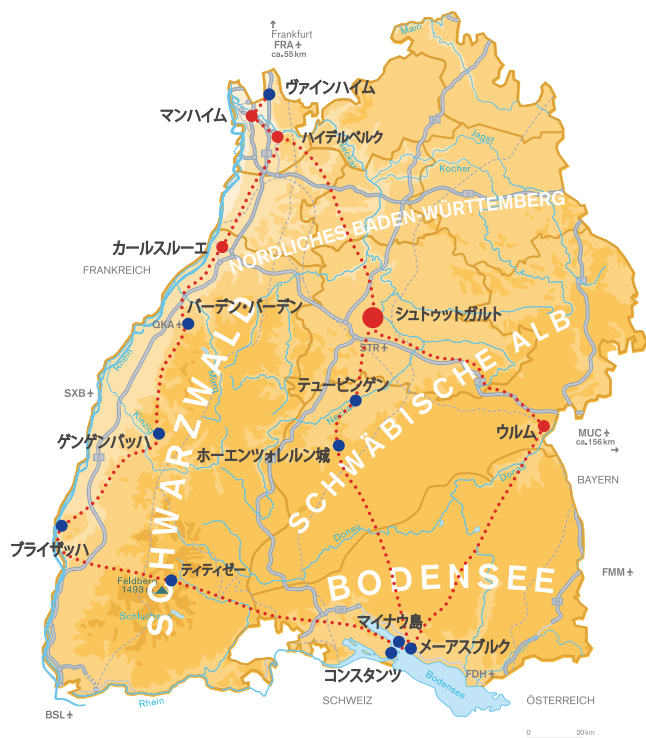
© Black Forest Production GmbH



© Black Forest Production GmbH

ファンタスティック街道 モデルコース

ファンタスティック街道は、南西ドイツの個性的な10都市を結ぶ街道です。北の街ヴァインハイムと、南の外れのボーデン湖を結ぶと約400km。フランクフルトから南下することも、パーゼルやチューリヒから北の街を目指すこともできます。クリスマスマーケットから中世の街並み、お城まで、王道のドイツを感じる旅が楽しめます。



ツアー1 クリスマスマーケット巡り

ゲンゲンバッハ ⇨
ティティゼー (106km) ⇨
コンスタンツ (95km) ⇨
ホーエンツォレルン城 (125km)



© hochschwarzwald Tourismus GmbH

ゲンゲンバッハ：市庁舎の窓を使った世界最大のアドヴェントカレンダー
ラヴェンナ峡谷：森の中のクリスマスマーケット
コンスタンツ：ドイツのクリスマスマーケットベスト10に選出
ホーエンツォレルン城：王家のクリスマスファンタジーは毎年12月に開催

ツアー2 ワインの産地巡り

ヴァインハイム ⇨
ブライザッハ (221km) ⇨
メーアスブルク (164km)



© TMBW / Dietmar Dengler

ヴァインハイム：貴重なバーデンワインが味わえる街
ブライザッハ：ドイツ有数のワイン産地カイザーシュトゥールのおひざ元
メーアスブルク：州立醸造所見学と良質なバーデンワインの試飲

ツアー3 ファンタスティック街道 文化巡り

バーデン・バーデン ⇨
チュービンゲン (142km) ⇨
マイナウ島 (149km)



© Black Forest Production GmbH

バーデン・バーデン：ドイツ有数の温泉地
チュービンゲン：大学の博物館には、世界遺産「氷河期時代の洞窟」から出土した彫刻作品が展示
マイナウ島：ガーデン文化を堪能



バーデン・ヴュルテンベルク州観光局
Tourismus Marketing GmbH Baden-Wuerttemberg
Esslinger Straße 8 70182 Stuttgart

旅行会社担当：Ms. Natalie Dietl
Email: n.dietl@tourismus-bw.de
URL: <https://www.southwest-germany.jp/>

フランケン地方 セールスマニュアル



© FrankenTourismus / Holger Leue

世界遺産、旅の醍醐味、クリスマスの魅力！ 観光素材が豊富なバイエルン州北部フランケン地方

フランクフルトとミュンヘンの間に広がるフランケン地方は旅にぴったりの場所。フランクフルトとミュンヘン、ニュルンベルクの3空港からのアクセスが良いバイエルン州の北に位置する。その多様性から文化や歴史が息づく「ドイツの縮図」ともいえる地域だ。

バロック様式の華麗な建物と木組みの家が立ち並ぶ曲がりくねった小路、ぶどう畑に広大な森、スポーツと癒しのオフタイム。一見、相対するものが上手く調和するこの多様性こそがバイエルン州北部フランケン地方の魅力だ。16ある各地域で美味しい料理やビールとワイン、名所旧跡、息づく文化など変化に富んだフランケンならではの体験ができる。

中世の重要建造物が並ぶ街並み 古城街道やロマンチック街道の拠点

旅のハイライトとなるのは、フランケン地方の町々だ。見事な中世の町並みを魅せるローテンブルクやディンケルスビュール。ルネッサンス建築の城と要塞がそびえるニュルンベルク、クルムバッハ、コーブルク。領主大司教が残したバロック建築が壮大なヴェルツブルクやバンベルク、アイヒシュテット。辺境伯の遺産アンスバッハやバイロイト、エアランゲン。シュヴァインフルトやフォルヒハイム、アシャッフエンブルクにも文化財建造物が多くみられ、その筆頭はフルトだ。1,000件余りの重要文化建造物が並び、その密度はバイエルン州で最も高い。

ユネスコ世界遺産のバンベルク旧市街、バイロイト辺境伯歌劇場、ヴェルツブルク領主司教宮殿、バート・キッシンゲン（欧州の偉大なスパ）。ローマ帝国国境リメスの一部もフランケン地方にあり、バイエルン州に10ある世界遺産うち5つがフランケン地方にあることになる。



© FrankenTourismus / Thomas Glomm



© Rothenburg Tourismus Service / W.Pfitzinger

こうした多彩な文化がある場所では、テーマに沿った観光街道がヒントとなる。例えば、「古城街道」だ。フランケン南西部から北東に向かって横断し、約70の古城宮殿、豪華な居城を結び、ローテンブルク、アンスバッハ、ロート、ニュルンベルク、バンベルク、コーブルク、クローナッハ、クルムバッハ、バイロイトといった町をつなぐ。また、「ロマンチック街道」はヴェルツブルクをスタート地点とし、欧州の豊かな歴史、芸術文化を体験できるルートで、ヴェルトハイム、バート・メルгентハイム、クレクリンゲン、ローテンブルク、フォヒトヴァンゲンといったフランケンの町が連なる。

フランケンの命の源である水路メイン川は、古城街道と反対に東から西へ流れ、バイロイト、クルムバッハ、バンベルク、シュヴァインフルト、ヴェルツブルク、アッシャッフェンブルクなどの見どころの多い町を結んでいる。メイン・ドナウ運河はバンベルクで分岐し、南でメイン川はドナウ川に繋がる。



© Loic Lagarde

アスパラガスにレープクーヘン! 名物を堪能 サイクリングやハイキングコースも充実

どちらの川もクルーズ船や遊覧船から素晴らしい景観を堪能できる。船を降りたら、フランケン地方の名物料理を味わおう。メイン川は、世界でも類を見ないほどにビール醸造所が密集する地域やフランケンワインの産地を流れ、川の兩岸の丘陵にはぶどう畑が広がっている。フランケンのビールとワインだけでもひかれるが、是非郷土料理とともに味わってほしい。例えば、フランケン地方はアスパラガスの産地だ。他にもハーブが茂る牧草で育つ羊、湖沼の鯉、種類豊富な焼きソーセージやニュルンベルク名物レープクーヘンなどが名物だ。

美味しいものの産地は、豊かな自然に触れることができる恰好の場所でもある。フランケン地方には認証を受けた50余りのハイキングコースがあり、神秘的な湿地、岩山、洞窟の他、緑の深い森が広がる。特に「フランケン山の道」はおすすめで、レンシュタイクからシュベールビッシュアルプの自然景観の中を歩く。サイクリングでは「メイン川コース」や「レグニッツ川コース」、「タウバー・アルトミュール川コース」が人気だ。

旅を楽しむこととカーボンフットプリント。フランケン地方では、相反するようなこの2つが共存する。フランケン地方の自然公園群は特にサステナブルな休暇に最適であるが、この他にも例えば、自然が近い宿泊施設、土地ならではの美味しいもの、森の癒し効果、持続可能なライフスタイルなど多方面でサステナブルな旅を目指し、自然に寄り添った様々なイベントが年間通して行われている。



© Haßberge Tourismus / Carolin Ulric



© Fränkisches Weinland Tourismus / Holger Leue

クリスマスマーケットやウィンタースポーツなど 冬の魅力も満載

フランケンでは、冬も存分に楽しむことができる。体を動かすならスキーやクロスカントリー、ロマンチックに浸るならクリスマスマーケットがおすすめ。世界一有名なニュルンベルクはもちろん、多くの町でクリスマスマーケットが開かれ、旧市街や城、宮殿などには屋台が並びホットワインの香りが漂う。

クリスマスグッズを買うならクリスマスマーケット。通常のショッピングなら、街中のショップやアウトレットがおすすめ。有名ブランドが軒を連ねる「ヴェルトハイム・ヴィレージ」、AdidasやPUMAの本拠地ヘルツォーゲンアウラハはスポーツ用品のメッカ。高級文房具やアート用品ならファーバーカステル社。ゲロルツグリュン村のショップや本社シュタイン城は外せない。



© Coburg Marketing / Henning Rosenbusch



フランケン地方観光局

FrankenTourismus
Pretzfelder Straße 15
90425 Nuremberg, Germany

Phone: 0049 (0) 911 / 941510

Fax: 0049 (0) 911 / 9415110

Email: info@frankentourismus.de



URL: www.frankentourismus.com

B2B/プレス: medienservice.frankentourismus.com/trade-media/

フォトギャラリー/プレスリリース: medienservice.frankentourismus.com/

レイルヨーロッパ セールスマニュアル



便利、安心、快適！ドイツの旅はレイルヨーロッパの鉄道で！

レイルヨーロッパは90年以上に渡り、欧州を旅行する世界中の人々をサポートしてきた鉄道会社だ。鉄道はヨーロッパを旅するのに、最も分かりやすく快適な移動手段。圧倒的な文化・名所や童話の森があるドイツは、その最適な起点となる。時速320kmを超える高速鉄道は都市の中心地を繋ぎ、CO₂排出ゼロの環境にやさしい旅を実現する。ドイツ国営鉄道会社「ドイツ鉄道」は、複数の空港駅を含む5700の駅を統括し、高速鉄道ICE（Inter City Express）を国内外の都市を繋いでいる。



区間乗車券とレイルパス

区間乗車券（1回乗車向け）とレイルパス（複数乗車向け）。区間乗車券でよく利用されるのは、ベルリンーミュンヘン間（3時間55分）、フランクフルトーケルン間（1時間1分）、ミュンヘンーウィーン間（3時間56分）だ。区間乗車券は1都市、または2都市を訪ねる旅に適している。1都市に長く滞在する旅は、その町の日常に触れるからこそ見つかる驚きや発見がある。

一方レイルパスは、複数の都市を訪れる旅に適している。3、4、5、7、10、15日間の連続タイプ、有効期間1カ月の間に使用日を選べるフレキシタイプがある。日付が変わる夜中から1日として利用でき、いずれの列車も乗車可能だ。（高速鉄道乗車時は、座席予約が必要なケースもある。）長期休暇では、ドイツの都市や隠れた名所をより深く観光できる。乗り放題の鉄道パスを利用して、ユニークな旅の体験を実現しよう。

ドイツ鉄道 最新ニュース

最新車両、信頼、充実の運航本数

イノベーションを生み出し続けているドイツ鉄道。現在運行しているICEは次の7種— ICE 1、ICE 2、ICE 3、ICE 4、ICE T/TD、ICEスプリンター、そして2023年導入の最新ICE 3neoだ。これらの高速列車には、スマートデバイス受信環境、自転車用スペース、照明、よりスムーズな乗降のための補助ドアといった新機能がある。

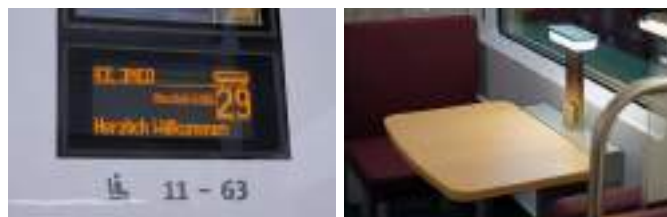
車両が進化を続ける中、サービスは信頼が高く正確だ。列車の本数も多く、旅行者が求める時間に発着する。主要都市間(例：ハンブルクーベルリン間、ケルンーフランクフルト間など)では、30分間隔で列車が運行されている。その他の区間では1〜2時間間隔、これ以上の間隔はごく少数である。

利用者の多い直通区間(ドイツ国内)：

- フランクフルト — デュッセルドルフ (1時間25分)
- ケルン — ミュンヘン (3時間51分)
- ベルリン — ハンブルク (1時間42分)

利用者の多い直通区間(国際区間)：

- ミュンヘン — チューリッヒ (3時間30分)
- ベルリン — プラハ (4時間1分)
- ブリュッセル — フランクフルト (2時間58分)



サービスとアメニティ

ドイツの鉄道には、1等と2等がある。2等には子供連れ用のファミリーエリアが用意され、無料で利用することができる。無料Wi-Fi(データ制限あり)も利用可能だ。

忘れられない旅を望むなら、1等がオススメだ。広くゆったりとしたシート、無制限Wi-Fi、飲食サービス、無料の新聞、静かな空間を提供するクワイエットエリアもある。全国15の主要駅には、1等利用者向けのDBラウンジが用意されている。なお、座席予約は1等乗車券代に含まれている。

食堂車では、朝食、ランチ、ディナーを提供しており、誰でも利用することができる。メニューにはオーガニックやフェアトレード食材、人気のドイツ料理、高級ワインなど様々なものが並ぶ。ビストロでは、セルフサービスとバーテーブルがあり、スナックやドリンクをいつでも楽しめる。



鉄道旅行はグリーントラベル

世界中で環境意識が高まりつつある昨今。鉄道利用は、持続可能な未来に貢献する。ドイツ鉄道の長距離列車は100%再生可能エネルギーを使用し、旅行者は二酸化炭素排出量を気にすることなく旅行を満喫できる。フランクフルトからベルリンまで列車で行くと、飛行機より40分長くなるが、搭乗チェックに何時間も列に並ぶ必要はなく、家族とゆっくりした時間が持てる上、大気汚染もないという利点がある。ドイツ鉄道は2040年までに、完全なカーボンニュートラルを目指すとしている。そうした観点からも鉄道旅行はグリーン革命への貢献に繋がるといえるだろう。

鉄道旅行 予約&問い合わせ

ドイツ鉄道の旅予約&お問い合わせは、以下レイルヨーロッパ提携旅行会社へ。



株式会社 欧州エクスプレス
RailSales事業部
URL: <https://www.ohshu.com/>
Email: newbook@ohshu.com
Tel: 050-1745-3111

トラベルプラザインターナショナル
URL: <https://www.tpityo.co.jp/>
Email: fit.rail@tpi.co.jp
Tel: 03-6417-0836

株式会社ワールドコンパス
URL: <https://eurorail-wcc.com/>
Email: info@eurorail-wcc.com
Tel: 03-6455-0230

ルフトハンザ ドイツ航空 セールスマニュアル



ルフトハンザ ドイツ航空、羽田・関西からドイツ2都市へ直行便 関西―ミュンヘン線の運航も再開、夜出発で選択肢広がる

ルフトハンザ ドイツ航空は現在羽田からフランクフルト、ミュンヘン線を毎日運航している(一部期間除く)のに加えて、今年5月からは関西―ミュンヘン線の運航も再開しました。特に関西―ミュンヘン線は出発時間が夜となることで、日本各地の空港からの乗り継ぎやミュンヘン以遠の都市へのアクセスもより円滑に実現できるようになりました。さらに機材も大型かつ最新鋭のものを導入。サービス水準が向上するとともに提供座席数も大幅に増強しています。

羽田―フランクフルト線は、ボーイング747-8型機を使用して運航します。座席数はファーストクラス8席、ビジネスクラス80席、プレミアムエコノミークラス32席、エコノミークラス244席の座席数を誇っています。

羽田発のLH717便は毎日運航。ただし8月4日から30日までは木曜日を除く週6便の運航となります。フランクフルト発のLH716便は8月3日から29日まで水曜日を除く週6便運航となります。

羽田・関西―ミュンヘン線は 最新鋭のA350-900型機を使用

羽田―ミュンヘン線はエアバスA350-900型機を使用して運航。座席はビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス、エコノミークラスの3クラス構成となっており、座席数はビジネスクラスが48席、プレミアムエコノミークラスが21席、エコノミークラスが224席となっています。特にビジネスクラスシートは開放的な設計、シート配置の工夫、そして控えめで自然な色調のデザインにより、広々とした感覚の空間を実現しています。

羽田―ミュンヘン線は羽田発のLH715便が毎日運航となっています。ただし10月4日からは月・水・金・土・日曜日の週5便運航となります。

一方ミュンヘン発のLH714便は10月2日までは毎日運航。10月3日から火・木・金・土・日曜日の週5便でのフライトとなります。

関西―ミュンヘン線はルフトハンザの日本路線で唯一、出発時間が日本発もミュンヘン発も夜となっており、出発日当日の有効活用が可能となっています。また、日本各地から国内線を利用してアクセスすることができるほか、ミュンヘン着は早朝となっており、より多くの都市への乗り継ぎが可能です。

関西―ミュンヘン線も羽田―ミュンヘン線同様にエアバスA350-900型機を使用して運航しています。関西発のLH743便は

月・水・土曜日、ミュンヘン発のLH742便は火・金・日曜日のそれぞれ週3便運航となります。

カーボンニュートラルな旅行を実現へ 欧州内路線では「グリーン運賃」を新導入

近年サステナブル(持続可能性)に寄与した旅行のあり方が求められる中でルフトハンザ ドイツ航空はフライト予約時にカーボンオフセットの取り組みに寄与することができるオプションを提供しています。これにより予約段階で旅行をより持続可能なものとすることができます。

同社が提供するオプションはSAF(持続可能な航空燃料)の利用促進を支援する取り組み、または質の高い気候保護プロジェクトを支援することでフライトのCO₂排出量を相殺するプロジェクトのいずれかを選択。または両方組み合わせた3つのオプションを提供しています。

SAFは従来の航空燃料に比べてCO₂排出量を約80%削減することが可能。同社は今後SAFを必要量使用することにしており、これに関する支援を旅行者に求めています。

気候保護プロジェクトは同社が環境保護法人のmyclimate(マイクライメイト)との協力のもとで推進しているプロジェクトを支援することでCO₂排出量を相殺する形でカーボンニュートラルに貢献するものです。プロジェクトの一例としてはドイツでの湿原の再生やブラジルのバイオガスプラントの建設、タンザニアでの消失危機にある森林の保護などがあり、気候保護にとどまらず、生物多様性を維持し、現地の人々の生活条件の向上に寄与することができるとしています。

さらに新たな取り組みとして欧州内路線を対象により持続的な旅を可能にする新運賃「グリーン運賃」を導入しています。

エコノミーグリーン運賃またはビジネスグリーン運賃を選択するとSAFの使用によりフライトに伴うCO₂排出量の約20%が削減され、残りの80%が質の高い気候保護プロジェクトの支援により相殺される仕組みとなっています。この20%の削減分と80%の相殺分を組み合わせることでより持続可能な空の旅を可能にします。



機内外でめ細やかなサービスを提供 日本ードイツ間の快適な旅を実現

ルフトハンザ ドイツ航空のフライトでは、旅行者のニーズにあわせた多彩な座席とサービスを提供しています。



ファーストクラス

顧客ひとりひとりの要望に最大限に沿った対応

ファーストクラスは細部まで行き届く心配りや乗客1人ひとりの希望に耳を傾け、ファーストクラスにふさわしい旅を実現。

座席は時代を超えたエレガントなデザインや高級素材、心地よい照明デザインが利用客の五感を癒し、長旅の後でも目的にすっきりとした気分で到着できるよう、高級アメニティキットや上質のケア商品を用意しています。食事は上質の陶磁器に美しくアレンジされたメニューを用意。高級ホテルで腕を振るう世界トップクラスのシェフとの協力で機内でも選り抜きのグルメ料理を提供します。さらに独立したコースメニューとしてキャビアサービスを提供するのも特徴の1つとなっています。



ビジネスクラス

プライバシーに配慮しながら、リラックスした旅を提供

ビジネスクラスは「リラックスした旅」をコンセプトにさまざまなサービスを提供しています。ビジネスクラスのシートは全長が約2メートルの水平に眠れるベッドに変えることができるため、長時間のフライトをくつろいで過ごすのに理想的な空間を提供。

座席は開放的な設計、シート配置の工夫、そして控えめで自然な色調のデザインにより広々とした感覚の空間を実現しています。



プレミアムエコノミークラス

幅広いシートで目的地までゆったりとした旅を提供

プレミアムエコノミークラスでは、エコノミークラスに比べて全方向で最大50%広がったシートを投入。座席の快適性が向上しています。ご搭乗時にはノンアルコールのウェルカムドリンクでお迎えします。また、座席にはアメニティキットとミネラルウォーターを用意しています。料理も陶器の食器で提供するなど、付加価値を高めたサービスを提供します。エンターテインメント関連では、11または12インチのモニターを採用。大きな画面でさまざまな機内エンターテインメントを楽しむことができます。



エコノミークラス

スリムな設計のシートで快適なフライト提供

エコノミークラスはスリムな設計の背もたれを採用することで足元の広い空間を実現。また、長距離フライトではワイドな40cmのクッションと個別に調整可能なヘッドレストの採用により快適な旅を実現しています。

このほか「Onboard Delight (オンボードデライト)」として機内でスナックを個別に購入することができるサービスも用意しています。

旅行会社の社員の皆さま向け無料会員サイト「eXperts」

旅行会社の社員の皆さまに役立つ豊富なコンテンツ

eXpertsは、ルフトハンザ グループの航空会社、オーストリア航空、ルフトハンザ、スイスインターナショナル エアラインズが旅行会社の社員の皆さまに提供する無料会員制サイトです。同サイトは、日々の業務に役立つブッキングサポートから機内サービス、空港施設の案内、会員限定の優待料金やオンラインゲームまで幅広い情報をご提供しています。

※eXpertsの会員登録サイト <https://www.lufthansaexperts.com/>

eXperts



[lufthansa.com](https://www.lufthansa.com)

 **Lufthansa**